

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／プロダクトデザイン専攻											
総合実習 1											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	加賀 武見			実務経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
担当教員は、商品開発の基本をミラノで習得し、商品の供給から販売までの業務に携わることで、デザインの役割を深く理解し、キャリアを積んだ後、企業と商品企画した経験を基に授業を展開している。											
授業概要											
この科目を受講する学生は、基礎のプロダクトデザインとしてアイデアスケッチ、モデルの造形を修得します。プロダクトデザインの基礎として、製品のコンセプトを読み取り、機能性とその向上を提案し、リデザインを行ないます。これから経験していく仕事の現場で、役に立つ改善力を学び、デザインの適正を理解してユーザー満足度を計る力を身に着けるようになります。10案のデザインをスケッチして、提案を人に伝達していくプロセスを通じ、専門的技術を学びます。積極的に学び、ユーザビリティを考えて発想することができるようになるのがねらいである。											
到達目標											
この科目では、学生が、実習からプロダクト製品の改善点を発見し、改善案を考え、より使いやすいデザインを検討し、業界で活躍するために必要になる製品観察力を向上させ、商品コンセプトを読み取り、機能と形態を改善させるアイデアを10案まとめるトレーニングを行ないます。また、スピードシェイプの立体的なモデリング表現を行い、造形力を養い、テーマに適した立体表現ができるようになることを目標にしている。											
授業方法											
この授業では、プロダクトデザインの基礎的な要素、講師からの解説を受け、プロダクト製品の観察、使いやすさの評価、問題点、ユーザー満足度を調査します。段階的に理解力を向上する授業です。講師の解説、対話から学びを深め、学生の「プロダクトデザインのリデザイン力」を育成していきます。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「改善力」を自分自身の実践し、活用できるようになることを目指す。											
成績評価方法											
課題完成度	40%	制作物の発表方法、内容について評価する									
成果発表	20%	提出課題完成度を総合的に評価する									
リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、初期段階の学生にプロダクト製品の評価から、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。リデザインの手法理解し、今後、実習授業時で求められるデザイン提案ができるように考えたベースになる実習になります。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	講師の仕事紹介 ガイダンス										
第2回	製品調査 どのように製品を見るか？										
第3回	使いやすい製品報告書 報告書作成と発表										
第4回	製品のリデザイン 製品の改善、改良した10案スケッチ										
第5回	製品のリデザイン 製品の改善、改良した10案スケッチ										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／プロダクトデザイン専攻	
総合実習 1	
第6回	製品のリデザイン 製品の改善、改良した10案スケッチ 発表
第7回	スケッチ指導 スピードシェイプスケッチ
第8回	スケッチ指導 アイデアスケッチ
第9回	スケッチ指導 アイデアスケッチ
第10回	造形素材演習 スピードシェイプモデル制作1 切り出し
第11回	造形素材演習 スピードシェイプモデル制作2 荒削り
第12回	造形素材演習 スピードシェイプモデル制作3 削り
第13回	造形素材演習 スピードシェイプモデル制作4
第14回	造形素材演習 スピードシェイプモデル制作5 磨き
第15回	造形素材演習 スピードシェイプモデル発表